

タイプ2：人を助ける人

親との関係：保護者像に対して愛憎半ば

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
無条件で愛する 喜びに溢れた 明るく暗れやか 心底から慈悲深い 安定した 「不屈の愛」	愛他的 自己を育てる 私欲がない 私心がない 慎み深い 優雅	自己実現： 特別な自己イメージ—— 自分自身と自分自身の必 要を大事にすることは許 されない——を捨てて自 由になる	根元的怖れ： 人から求められず、 愛される価値がない
2. 心理的受容力の段階			
愛する 面倒を見る 無私無欲 思いやりがある 心暖かい 情熱的	共感的 気遣う 他人志向 寛容 情け深い 誠実	根源的欲求： 無条件に愛されたい	副次的怖れ： 自分自身の必要と否定的 な感情が人との関係を損 なう
3. 社会的価値の段階			
与える 気前が良い 相手を元気づける 人の助けになる 表情豊か 案内役 奉仕的	人を支える 感謝の心を持つ 同情的 人を育てる 献身的 賛美する 情愛深い	副次的欲求： 他の人たちのためにな ることをしたい（自分 の好意的な感情と自己 イメージを強化するた め）	他の人たちのためにして 上げてきたどんなことも、 相手の愛を得るには十分 でないのではないかと（他 の人たちは自分のところ に来ようとはしないから、 もっと自分が出ていかな ければならない）
通常の段階			
4. 不均衡の段階			
見せびらかし 賛意を表す お世辞たらたら 浮ついた 人を喜ばす 親交を求める 「分かち合い」 脱得力のある	善意の 感傷的 案じる 打ち解けた 憧れの 身体で触れたがる 敬虔／精神的 ふざけを許さない	求められたい——他の 人たちの側にいたい	自分の愛する人たちが自 分以外のだれかをもっと 愛するのではないかと
5. 対人関係支配の段階			
出しゃばり 「親密」 だれにも声をかける こびる 求められない忠告 まつわりつき 噂好き あなたならできる 支配的	強い所有欲 「自己犠牲的」 心配性 隠れた動機 感じやすい 嫉妬深い 典型的相互依存 「感情が詰まった」 自己中心的	必要とされたい——自 分自身を他の人たちに 必要とさせる	自分も自分の助けも当た り前のこととして受け止 められているのではない か
6. 過補償の段階			
横柄 恩着せがましい 高飛車 誠意のない 思慮分別のない 条件付きの愛 不満たらたら／ 悲壮がり ひそかに傷つける	尊大ぶる 自己満足 強いうぬぼれ 信心家ぶる 差し出がましい 自己満悦 心気症的 対立的	承認されたい 自分の美点と善良さを 認めさせたい	自分は他の人たちを追い やっているのではないかと

タイプ3：動機づける人

親との関係：養育者像に結びつく

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
ほんもの 偽りのない 感動させる 高く評価される 謙虚で控え目 善意に満ちた	内面志向 自己受容 謙遜 満足した 愛情籠もった 慈悲深い	自己実現: 特別な自己イメージ—— 自分の価値は相手から前 向きに評価されるところ にある——を捨てて自由 になる	根元的怖れ: 値打ちがない
2. 心理的受容力の段階			
賞讃すべき 好ましい 魅力的 チャーミング 精神的情緒的に安定 落ち着いた	適応できる 他者志向 現実的 自信を持った 目的を持った 「限りない可能性」	根元的欲求: 自分の存在は価値も値打 ちもあると感じていたい (他の人たちを失望させ るから)	副次的怖れ: 自分は拒絶されるのでは ないか
3. 社会的価値の段階			
自己陶冶 傑出した 効果的 有能 敏腕 伝達者 動機づける 勤勉	目標志向 野心的 自信に満ちた 意気盛ん 絶えず努力する 集中した ねばり強い 自分に投資する	副次的欲求: 自分自身を伸ばす(な れるならどんなもの にもなりたい)	人に後れをとるのではな いか 他の人たちより見劣りす るのではないか
通常 of 段階			
4. 不均衡の段階			
言動を見せつける 目的達成 出世志向 自己拡大 きちんとしている 駆け引きのうまい 外見の体裁がよい 頑応	成功志向 他と比べる 地位身分を意識 競争心旺盛 閉鎖的 駆り立てられた 報償を得ようとする 緩柔的	他の人たちより人目を 引きたい; 注目されたい 周りから高く評価され たい	他の人たちからの好意的 な評価を失うのではない か
5. 対人関係支配の段階			
便宜主義的 期待に添う 気が変わりやすい 外面を飾る 有能 実際的 専門的職業的 「友好的」 虎に入った	イメージを意識 「練習を積んだ」 前もって考えた 人間味がない 感情から切り離された 相手を「読む」 親密さの問題 自己不信 義務から解放された	自分自身に好意的な印 象をつくり出す(印象 づける)	他の人たちは自分を見抜 いているのではないか— —自分に恥をかかせるの ではないか、面子を失う のではないか
6. 過補償の段階			
自分を売り込む 「これ見よがし」 業績誇張 あからさまな競争心 冷笑/嘲笑 魅惑的 「ポーズ」 緩柔	仰々しい 自分のことで夢中 自愛的 さげすみ 傲慢 嫉妬深い 心中の貧困 非現実的	自分のイメージは本物 であると自分自身にも 他の人たちにも確信さ せたい	失敗しかけているのでは ないか 自分の主張は空虚で不正 直なのではないか

タイプ4：個性的な人

親との関係：保護者像とも養育者像とも繋がりを断つ

行動	態度	欲求	怖れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
生きる価値を高める 願い 靈感を受けた 没頭している 真に独自の 感情を表す	人生を抱きしめる 自己再生的 新しい活力を与える 自然内発的 つながった 気前の良い	自己実現: 特別な自己イメージ—— 自分は他の人たちよりも 生まれながらに欠点がある、 他の人たちが持っている 何かを捨てて自由になる	根元的怖れ: 自分には存在意義はない 取るに足りない存在だ
2. 心理的受容力の段階			
敏感 人とは違う 優しい 物静か、温かい 独特な 自己に正直	内省的 自分を意識した 直観的 感情に溢れる 感情中心 感受性に富む	根源的欲求: 自分自身と自分の生きて いる意味を見つけない (自分の内面の体験から 存在意義をつくり出した い)	副次的怖れ: 自分の心の状態、自己感 覚と繋がりが切れるので はないか
3. 社会的価値の段階			
創造的 自分だけがすべて 表現力豊か 繊細鋭敏 人間味がある 雄弁、ウィット豊か	自己顕示的 近づきやすい 情緒的に強い ほんもの ひたむきな 内面志向	副次的欲求: 自分自身に対しても他の 人たちに対しても自 分の個性を表現したい (創造的な行動を通じ て)	感情の移り変わりが自分 も創造性も挫けさせるの ではないか
通常 の段階			
4. 不均衡の段階			
個人主義的 特別 耽美的／異国風 象徴主義的 遠回し 雰囲気を生む 「優美」／ちゃめ 感情をあらわに示す	夢を追うよう 空想に耽る 劇的に表現する 理想化する 過去志向 理性を失った 期待の気持を生む 感傷主義的	特別な感情を深め、長 く引き延ばしたい(空 想の自己)	他の人たちは自分の存在 意義や感情の重要性を分 かってくれないのではな いか
5. 対人関係支配の段階			
移り気 差し控える 気まぐれ、よそよ しい 感覚過敏 鬱んでいる、すねる 気取った／嫌みな 「なぞめいた」 関わりを避ける ためらった	自己陶醉 自分自身に言及 自意識過剰 深い物思いに沈んだ 傷つきやすい 誤解されたと感じる 自分を疑う 無関心 独占欲の強い	自分に対する他の人た ちからの興味や関心を 再確認したい(『その気 がない』振りをして)	生きることの差し迫った 必要が自分の「空想の自 己」を捨て去らせてしま うのではないか(他の人 たちは自分を救ってはく れないだろう)
6. 過補償の段階			
退廃的 官能的 仰々しい 非生産的 「気むずかしい」 過度に要求する 自分らしさの問題 高圧的	放埒 自分は別と感じる 拒否された 軽蔑的、つまらない 自己憐憫 羨ましが こらえ性がない 憤慨した	全くなんの束縛もなく 「自分自身で」いたい	自分の人生を台無しに し、好機も逃がしている のではないか

タイプ5：調べる人

親との関係：保護者像にも養育者像にも愛憎半ば

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
予見力がある 先頭に立つ 有頂天 知的な深みがある 革命的 思いやりのある 物知り	ことを共にする 時を移さず 直観的に知る 理解把握する 畏怖の念に満ちた 明晰な思考 信頼した	自己実現: 特別な自己イメージ—— 環境から離れて独立して いたい(局外の観察者) ——を捨てて自由になる	根元的怖れ: 無力で役に立たず無能な のではないか
2. 心理的受容力の段階			
洞察力の鋭い 「頭の切れる」 好奇心の強い 直観力のある おどけた 機敏 非凡	観察が鋭い 注意深い 感覚鋭敏 好奇心を誘う 感傷的でない 客観的 控え目で落ち着いた	根源的欲求: 有能で適任でありたい (何かで貢献したい)	副次的怖れ: 自分の洞察力は生きるた めの方向付けには不十分 なのではないか(人生に 打ちのめされる)
3. 社会的価値の段階			
革新的 独創的 腕利き 創意に満ちた 隠し立てをしない 創造的 博識	注意を集中した 調査好き 偏見のない 辛抱強い 気まぐれ 妥協しない 自立的	副次的欲求: 自信を持つために何か に熟達したい(独力で 適所をつくり出す)	貢献に値するものは何も ないのではないか(準備 できていない)
通常段階			
4. 不均衡の段階			
専門家 聡明 技能を身に付ける 物を集める よく勉強する 習慣的 結末を遅らせる 生かじり	概念で考える 博覧強記 モデルをつくる 分析的 無検閲の 準備している 食欲な 知識・情報を欲しが	自分の思考と空想の中 に逃げ込むことによ ってより安全で自信を持 っていたい(「組立遊 びのおもちゃ」)	他の人たちは自分にあま りにも多く求めすぎるの ではないか 自分の内面世界が脅かさ れるのではないか
5. 対人関係支配の段階			
夢中になった 様々な世界をつくる 隠し立てをする 思弁的 張りつめた 風変わり/非現実的 区分けした 軽はずみ	超然とした 抽象化する 熱心 必要を無視 錯綜させる 上の空 興奮で動揺した 見境のない	邪魔をさせたくない (自分の思考活動を強 めることで)	他の人たちは自分の適所 /力量を酷評しているの ではないか
6. 過補償の段階			
好奇心をそそる 議論好き 人を馬鹿にした 敵対する 論争的 こじつけ 物事を覆す 無神経	極端 世をすねた 知識を鼻にかける 信用しない 悲観的 結論に飛躍する 出し惜しみする 短気	自分の適所/内面の世 界を脅かす人は誰でも 怖がらせてやりたい	自分は出世のチャンス を見つたり他人と一緒に いようとはしていないの ではないか

タイプ6：忠実な人

親との関係：保護者像に結びつく

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
勇敢 恐れを知らない 相乗作用を生む 不撓不屈 自己表出 断固とした	独立独歩 自分に確信を持つ 独自の 積極的な思考 確かな根拠 安全	自己実現： 特別な自己イメージ—— 自分は安全を自分以外の 人か物に依存しなければ ならない——を捨てて自 由になる	根元的怖れ： だれからも何の助けも借 りずに自力で生き残るこ とはできないのではない か
2. 心理的受容力の段階			
当てになる 頼もしい 信頼に値する 好感が持てる 用心深い 将来への配慮がある 「まざれもない」	人を引き付ける 強い絆 相手の身になる 忠実な 信じやすい／いぶかる 警戒を怠らない 協調的	根源的欲求： 安全と支援を見つけない (どこかに所属してい たい)	副次的怖れ： 自分の安全——所属感— —を失うのではないか
3. 社会的価値の段階			
協同する 根気のよい 綿密入念 平等主義 勤勉 共同社会の構築者 儉約的 熟練の職人	約束に背かない 責任感がある 訓練された 実際の 行動志向 自己犠牲的 敬意を示す 整然とした	副次的欲求： 「社会の安全」を生み 出し維持したい(仕組 みを作り他の人たちと 提携したい)	自分の安全を保つ仕組み (グループ、権威、仲間) を危うくすることをして しまうのではないか
通常段階			
4. 不均衡の段階			
忠誠な 時間、能力をつぎ込む きちんと計画する 分析する 仲間である 防ぐ 紛争を調停する 人の機嫌を取る 言動を見せつける	義務を果たす 義務を負わされた 「万全の準備をする」 承認を求める 確信した 信じる／疑う 自信のない 制度や教義を好む 競争心旺盛	自分を支える仕組み— —権威者との提携や権 威者に与えられた地位 を強化する——を一層 強力にしたい	相反する要求(さまざま な協力者や権威者の)に 応えられないのではない か
5. 対人関係支配の段階			
回避的 自分の立場を弁解 受動攻撃的 優柔不断 予測できない 不平不満をこぼす 人を試す 気むずかしい カメレオンのよう	曖昧な 用心深い 強いられたと感じる 不安 受け身 消極的 懐疑的 疑り深い イメージを意識	自分への要求や義務が 増やされることに抵抗 したい(そうしている ようには見せないで自 己を主張する)	提携者や権威者の支えを 失いつつあるのではない か
6. 過補償の段階			
非難する けんか腰 当てこすり 責任転嫁 陰謀のような 過度に熱狂的 恐怖感に没り込む 物質乱用 自分を宣伝する	権威主義的 世をすねた けんか腰 卑劣 偏見のある 癡癡持ち 頑固 病的恐怖症的／対抗恐怖的「逆行」 軽蔑した	自分の値打ちと力を証 明したい(自分自身に 対し、提携者に対し、 また、自分の敵に対し て)	自分の行動が自分の安全 を害してしまったのでは ないか

タイプ7：熱中する人

親との関係：養育者像との繋がりを断つ

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
満ち足りた 満足 恍惚 夢を抱く 気高い 真に自由	感謝している 自分に取り入れる 受容性に富む 深い感謝を示す 楽しみにふける 気前の良い	自己実現: 特別な自己イメージ—— 充実していると感じるた めには明確な対象と体験 を必要とする——を捨て て自由になる	根元的怖れ: 激しい痛みと手痛い喪失
2. 心理的受容力の段階			
熱中する 精神が束縛されない 自主的 快活 熱心、社交性に富む 冒険好き 精力的	先取りする 興奮しやすい 刺激的 敏感 素早い、食欲に求める 気持が弾む 積極的	根元的欲求: 満ち足りて満足してい た——自分の必要を充足 させたい	翻次的怖れ: 自分の自由と幸せが失わ れるのではないか 自分の必要は満たされな いのではないか
3. 社会的価値の段階			
生産的 実際的 堪能 社交好き 多芸多才 才能豊か 人を楽しませる	現実的 自信がある 未来志向 没頭している 情熱的 活発 大胆	翻次的欲求: 自分が必要とするもの を確実に手に入れられ ることをやりたい	他の価値ある物事や体験 を逃すのではないか（自 分が手にしたものだけで は十分でない）
通常段階			
4. 不均衡の段階			
夢中にさせる 多様性を求める 経験する 専念する／忙しい 好事家的 粹な 口数が多い 変節する	何でも欲しが る 選択を保留する 快楽志向 食欲旺盛 実利主義的 世故に長ける ナウい、感覚追求 駆り立てられた	刺激の源をもっとも 増やしたい（もっと やりたい）	退屈したり欲求不満にな ったりするのではないか （そして否定的な感情が 生まれるのではないか）
5. 対人関係支配の段階			
行動過多 人目を引きたがる 表面的 散漫 意見が率直 悪意に満ちた 誇張した 自説に固執する	束縛されない 気まぐれ わくわくしていたい 非礼 注意力散漫 落ち着きのない 脱線する せっかち	自分自身を興奮させ続 け物事に専念させ続け させたい——寝ずに起 きている	世の中は自分が欲しいも のを与えてはくれないの ではないか （「欠乏思考」）
6. 過補償の段階			
行き過ぎ 過度に要求、厚かま しい 鈍感 無駄の多い 薬物常用 横柄 完璧主義的	自己中心的 満足していない 放蕩、人情味がない 食欲 無情 罪悪感を否定 妥協しない	自分の欲しいものはす ぐに手に入れたい （「瞬間の満足」）	自分の行動は自分に苦し みや不幸せをもたらして いるのではないか

地図力 地図図 ぶらぶら日記

卒業構想学部
専攻 経済学 継続的 5/24 24/24/24

構想力 かなのかなの勉強

仕事のおこし

香港旅行

コンピュータ

マネージメント

幅広い人材との交流

今更に入社して

収入を伸ばして

10年計画

国内は(日本)の国を定数

(100000000)に

海外は(香港)の国を定数

「知の生産の技術」の授業の中をE.

授業の終わりに 終了前10分

感想を書き出す。

広報活動の後 全経連(2005)外

現場の事E(国)。

24が feedback 24.2 CSの視点

大学に入ると

事業の構想

歴史を書く授業、未来の協力が読む

24年毎に30分ずつ

24年毎にどう反応が違ってくる

(III) 菅野

タイプ8：統率する人

親との関係：養育者像に対して愛憎半ば

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
英雄的 鼓舞する 勇敢 人に力を与える 無私無欲 優雅	自己放棄 思いやりのある 情けに富む 度量が大きい 寛大 忠実な	自己実現: 特別な自己イメージ—— いつも自分の周りを支配 していなければならない ——を捨てて自由になる	根元的怖れ: 他の人たちから危害を えられたり支配されたり するのではないか
2. 心理的受容力の段階			
力がある 断定的 才覚がある 行動志向 率直 粘り強い 元気盛ん	自力本願 人に頼らない 意志が強い 自ら決める 不屈の意志 熱のこもった 活気溢れた	根元的欲求: 自分自身を守りたい 自分の人生と運命は自分 で支配していきたい	副次的怖れ: 弱い存在になったり傷つ きやすくなるのではない か——自分の力と自立性 を失うのではないか
3. 社会的価値の段階			
先導する 提供する 建設的 ビジョンがある 挑戦的 擁護する 難しい決定を下す 保護者的	自信がある 自分を律する 高潔 威信みなぎる 事を起こす 決断力がある 戦略的 正義を求める	副次的欲求: 行動や成果を通じて自 分の力を証明したい	統率者／扶養者としての 自分の役割を遂行するた めに自分で自由にできる 資産や資質を十分には持 っていないのではないか
通常の間段階			
4. 不均衡の段階			
進取的 勤勉 危険を冒す 単刀直入 事務的 厳格 「世間ずれした」 博識	実利的 競争心旺盛 有利な立場を求める はしこい 「ふざけを許さない」 利己主義 駆り立てられた 分析的	自分の地位を保つのに 必要な資産や資質を自 分のものにしたい	他の人たちは自分を尊敬 しないし自分の努力を認 めもしないのではないか
5. 対人関係支配の段階			
支配する コントロールする 自慢好き／ボスづら 木を鼻でくった 威嚇的 大風呂敷 忠誠を要求する 「がむしゃら」 打ち解けない	自己賛美的 開放的 威張った 依怙地 尊大 執拗 自分勝手 縄張り根性 夢中になった	自分自身に対しても他 の人たちに対しても自 分が中心であり重要で あると確信させたい (大切だと感じさせた い)	自分がいる環境のコント ロールを失うのではない か（他の人たちは自分の 後押しはしてくれない）
6. 過補償の段階			
威圧的 闘争的 非理性的 力づく／けんか腰 脅迫的 境界線を押しつける ひそかに傷つける 圧制的 統率的	対立的 ふてぶてしい 「癩の種」 意地悪 ががつした 世をすねた 心の痛手を抑えつける 弱さを軽蔑 極端	自分のしたいことをす るために他の人たちに 圧力をかけたい 他の人たちを自分の課 題に同調させたい	他の人たちは自分に背を 向けつつあるのではない か

タイプ9：調停する人

親との関係：保護者像にも養育者像にも結びつく

行動	態度	欲求	怖れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
不屈 すべてを包み込む 自ら決める 独立的 一貫した 力強い	沈着 「今ここにいる」 自分を意識している 目覚めている、鋭敏 穏やか 元氣満ち溢れた	自己実現： 特別な自己イメージ—— 自分が世間の一員である ことは重要ではない—— を捨てて自由になる	根元的怖れ： 奪われ引き離されるので はないか（長続きしない）
2. 心理的受容力の段階			
安らか くつろいだ 堅実、情緒が安定 親切、優しい 気取らない 官能的 鷹揚	自己を意識しない 受容性に富む 楽天的 慎重深い 悪意がない 瞑想的 感受性に富む	根源的欲求： 内面の安定を保ちたい （「心の平和」）	副次的怖れ： 自分は心の平和を失うの ではないか
3. 社会的価値の段階			
慰めとなる 取りなす 人を支える 癒す 融和させる 分別のある 統合する 想像力に富む	私心がない 包み込む 忍耐強い 寛大 信念不動 批判的でない 「調和のとれた」 勿体ぶらない	副次的欲求： 自分の周りには平和と 調和を生み出し守って いたい	葛藤（内的、外的共に）
通常の間段階			
4. 不均衡の段階			
愛想の良い 従順 紋切り型 哲学者ぶる 立派な 楽しい 「人に合わせる」 忠誠な	出しゃばらない 人の言いなりになる 他人を理想化する 感傷的 自己を度外視する 単純化する 疑問を抱かない 義務を果たす	葛藤を避けたい（他の 人たちにおとなしく従 うことで——「心の聖 域」）	自分の世界の中での重大 な変化／分裂はどんなも のでも
5. 対人関係支配の段階			
のうのうとして 気楽さを求める 習慣的 とりとめのない空想 見せかけの仕事 「自動操縦装置」 慣例にはまる ぶらぶらする 自己防衛的	何事にも関わらない 選択的注意 受動攻撃的 反応が鈍い 禁欲的 抵抗する 無反省 身を防ぐための信念 不安	物事はありのままにし ておきたい——邪魔さ れないように（時の流 れから外れて）	何とか一所懸命努力しな ければならないのではな いか 自分の気楽なやり方を止 めなければならないので はないか
6. 過補償の段階			
なだめる 無視する 不作為の罪 向きをそらす 抑圧する はねつける 「時間つぶし」 片意地 好戦的	あきらめ切った 見くびる 非現実的 無頓着 希望的観測 怒りを抑える 感情を表さない 「どんな犠牲を払ってもの平和」 怒りっぽい	自分の世界では問題の 重要性を軽視したい	自分の問題を処理するよ うに現実から強制される のではないか

タイプ1：改革する人

親との関係：保護者像との繋がりを断つ

行 動	態 度	欲 求	怖 れ
健全な段階			
1. 解放の段階			
賢明 深い思いやり 高潔 寛大 意気盛ん 親切、純粋	受容 生の肯定 寛容 現実的そのもの 希望に満ちた 曖昧さを受け入れ	自己実現: 特別な自己イメージ—— 自分はあらゆることを客 観的に判断する立場に いる——を捨てて自由にな る	根元的怖れ: 腐敗墮落し、 不道徳で、 不完全であること（調和 がとれていない）
2. 心理的受容力の段階			
合理的 客観的 節度がある 分別がある 思慮深い 控え目	良心的 道徳的 理性的 明敏 価値を見極める 平静	根源的欲求: 善良でありたく、 首尾一貫してたく、 すべてにバランスがとれ ていたい	副次的怖れ: 個人的な感情と衝動的行 為で道を誤ることになる のではないかと（理性を失 う）
3. 社会的価値の段階			
責任をとる 嘘を言わない 自制的 理路整然 公平、公正 実例で説く 洗練された	主義を持つ 使命感 倫理的 公明正大 果断 熱情的 説得力がある	副次的欲求: 自分の良心と理性に従 って行動したい	他の人たちは自分たちの 規範に関心をもたないの ではないか
通常の間隔			
4. 不均衡の段階			
懸命に努力 改革的 議論好き 矯正したが 「指示好き」 弁明的 擁護的 緻密 あこがれ	理想主義的 義務的 駆り立てられた べき／ねばならぬ エリート主義 確信している 「進歩させよう」 まじめ 何事によらず期待する	自分自身も周りの世界 も「きちんとし」、よ り良くしたい	自分自身の理想から外れ たと非難されるのではな いか
5. 対人関係支配の段階			
規則正しい 非情 自説を曲げない 頑固 時間厳守 無愛想／「ぞんざい」 丹念 厳密／「はしよる」 気むずかしい	自制的 我慢しない 怒りっぽい 「狭量」／素っ気ない 几帳面 自己批判的 やましく感じる 感情を抑えつける ふざぎ込む	人生のあらゆることが 自分の理想に合致して いるべきである	他人は自分が勝ち得た秩 序とバランスを「台無し にする」のではないかと
6. 過補償の段階			
批判的 人を困らせる 誤りを指摘する すぐ異を唱える 嫌みを言う 説法する 執拗 仕事中毒 放埒	善悪で判断しがち 怒り 完全主義的 口やかましい、要求する 妥協しない 思いやりがない 厳格、規則に厳しい 相手を見下す 自己憐憫	自分の掲げる理想／基 準に合わせないとして 他人を非難する	現実には自分の理想が誤 っているのではないかと